



FUJIBO

The Focus on Innovation

第**205**期

報告書

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日

富士紡ホールディングス株式会社

証券コード：3104



代表取締役社長
いのうえまさひで
井上雅偉

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第205期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られ、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、米国新政権の関税政策変更、中東やウクライナに関連する地政学リスク、さらには円安傾向が続いた為替や原材料価格の高騰に伴う物価上昇など、依然として不透明な状況が続いています。

このような経営環境の下、当社グループは、2021年から2025年の5年間を計画期間とする中期経営計画『増強21-25』の基本戦略として、「事業ポートフォリオの改革」と「各事業の増強」に取り組んでいます。計画4年目となる当期においては、事業の柱である研磨材事業は、半導体市場の緩やかな回復を背景に、特にAI関連向け先端半導体の需要増加に支えられ増加基調を維持しました。また、化学工業品事業では、一部の機能性材料が堅調に推移したことに加え、電子材料を中心とした厳しい市況が底を打ち、回復傾向を示したため、全体として受注が増加しました。生活衣料事業は、国内での販売が減少傾向にあるものの、海外市場での需要が高まり、海外向け衣料品の売上は堅調に推移しました。

この結果、当期の連結業績は、売上高は前年同期比6,804百万円（18.8%）増収の42,912百万円、営業利益は3,658百万円（129.8%）増益の6,476百万円、経常利益は3,398百万円（103.7%）増益の6,675百万円となりました。これに特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比2,359百万円（111.4%）増益の4,477百万円となりました。

当期の期末配当につきましては、経営環境および業績等を勘案し、1株当たり70円とさせていただきます。これにより、中間配当60円を加えました当期の年間配当は、1株につき130円となります。

当社グループは、2021年度から2025年度を計画期間とする中期経営計画『増強21-25』を実行しています。本中期経営計画では、未来のありたい姿から導出した2025年像と現状の延長線上の2025年像とのギャップを特定し、中期的に取り組む施策を着実に実施します。加えて事業ポートフォリ

オの積極的な見直しと持続可能で儲かるビジネスへの転換を段階的に図ることにより、“圧倒的なニッチナンバーワン企業”をめざします。計画期間5年間の前半3年を「高収益体質への転換と種まき」ステージ、後半2年を「非連続的成長の実現」ステージと位置づけ、収益機会の増加と提供価値の強化を施策の両輪として、『稼ぐ力』を強化いたします。

主力の研磨材事業では、2025年の半導体市場は、世界的なAI関連投資の盛り上がりを背景に、最先端ロジック向け半導体やメモリ需要が一層拡大すると予測されています。特にAI関連では、データセンター向けの持続的な投資や、それに関連したデバイスの増加によって半導体の需要が高まっており、当社においても半導体生産の集積地である台湾に研究開発施設の建設を着実に進め、ユーザーからの要望にも迅速に応える体制を整えることで将来の売上拡大をめざしています。一方で、EVやスマートフォン向けの半導体需要は依然低調であり、各用途の動向は複雑な状況にあります。これら市場の変動に対応するため、市場環境や成長に応じた生産体制の整備に加え、米国新政権の関税政策の影響を見極めていく必要があります。

化学工業品事業では、化学業界全体の需要回復や半導体を中心とした電子材料市場の好転により、受注が増加傾向にあります。機能性材料の需要拡大に対応するため、柳井工場と武生工場の連携を強化し、2026年の稼働をめざした新プラントの建設も進行中です。

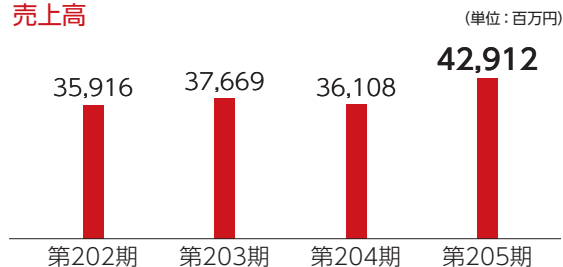
生活衣料事業では、円安の進展により物価水準が高止まりし、厳しい事業状況が続いています。そのような中、繊維製品のうちB.V.D.製品は、ECサイトやSNSなどの多様なメディアを活用し、認知度を高めることで商品の販売力を向上させる取り組みを行っています。また、アングル製品は、好調な海外向けの販路拡大に取り組めます。

その他の事業では、化成品部門は、医療機器用途向けの更なる需要拡大に対応し、生産体制を整えることで、重点3事業に続く第4の柱事業としての育成に向けた基盤整備を進めています。金型部門は、当面厳しい状況が続きますが、2025年度後半から回復の見通しとなります。

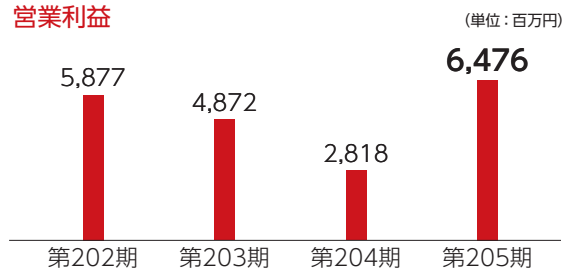
株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

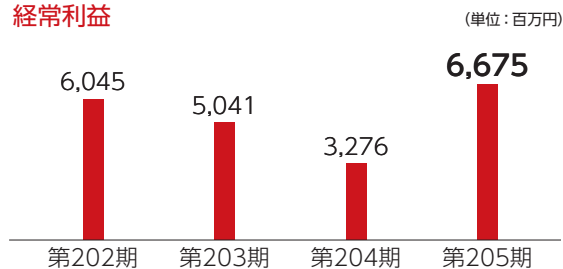
売上高



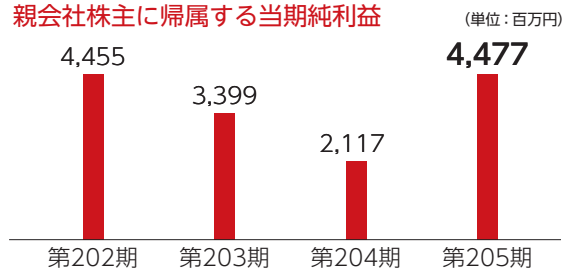
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



売上高構成比
45.0%

研磨材事業 売上高 19,307百万円 営業利益 4,729百万円

2023年前半に底を打った世界の半導体市場は、2024年に入り緩やかな回復が続いています。このような中、超精密加工用研磨材の半導体デバイス用途（CMP）は、生成AIの普及によるHBMなどのメモリや最先端ロジック向け半導体の需要の増加とそれに伴う一部ユーザーの在庫水準の引き上げにより受注が増加しました。シリコンウエハー用途は、汎用品用途の需要は弱いものの、先端品用途の需要は堅調で一定水準の売上を確保しました。ハードディスク用途はデータセンター向けの需要が戻り、液晶ガラス用途では期後半からTV需要の増加によってパネルの消費も加速しており、受注も回復しました。



この結果、売上高は前年同期比5,891百万円（43.9%）増収の19,307百万円となり、営業利益は3,641百万円（334.8%）増益の4,729百万円となりました。

売上高構成比
31.4%

化学工業品事業 売上高 13,474百万円 営業利益 1,217百万円

機能性材料、医薬中間体および農業中間体などの受託製造は、農業関連で世界的な在庫調整が継続しているものの、半導体を含む電子材料市場の緩やかな拡大と在庫調整の一巡により需要が回復し、受注が堅調に推移しました。また、新規製品への取り組みが奏功し、工場の稼働は改善しました。



この結果、売上高は前年同期比955百万円（7.6%）増収の13,474百万円となり、営業利益は328百万円（37.0%）増益の1,217百万円となりました。

生活衣料事業

売上高 6,967百万円 営業利益 586百万円

売上高構成比
16.2%



繊維素材は、物流費やエネルギーコストの高騰に加え、円安の影響を受けたことにより、厳しい環境が続きました。繊維製品は、量販店の店舗減少や消費者の節約志向の高まりにより苦戦しました。一方、ネット販売では、SNSや検索広告などのWebマーケティングを強化し、ネット専用製品を拡充することで、効果的な商品訴求を図りました。また、高品質な日本製品が評価され、海外向け販売は好調に推移しました。しかし、円安の進行に伴う原材料や資材の価格高騰が続いているため、利益面では粗利率が低下しました。

この結果、売上高は前年同期比14百万円(0.2%)増収の6,967百万円となり、営業利益は195百万円(25.0%)減益の586百万円となりました。



その他の事業

売上高 3,162百万円 営業損失 57百万円

売上高構成比
7.4%



化成品部門は、医療機器用部品およびデジタルカメラ用部品の受注が堅調となり、前年比で増収となりました。金型部門は、自動車メーカーの品質不正問題、大手企業の経営統合の動きやEV化シフトの遅れにより、依然として不透明な状況が続いています。また、事務機器用金型が開発案件の端境期にあることや、車載コネクタやスマートフォン向けホットランナーの需要が低調であることから、厳しい状況が続きました。

この結果、売上高は前年同期比57百万円(1.8%)減収の3,162百万円となり、営業利益は116百万円減益の57百万円の損失となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期	前期	科目	当期	前期
	2025年3月31日 現在	2024年3月31日 現在		2025年3月31日 現在	2024年3月31日 現在
資産の部	66,608	62,512	負債の部	19,148	18,539
流動資産	25,052	23,689	流動負債	12,499	11,756
現金及び預金	8,065	8,262	支払手形及び買掛金	4,772	4,156
受取手形	214	284	電子記録債務	1,276	1,095
電子記録債権	533	605	短期借入金	321	1,223
売掛金	9,823	8,270	リース債務	44	48
商品及び製品	1,031	1,071	未払法人税等	1,863	497
仕掛品	2,558	2,702	契約負債	128	142
原材料及び貯蔵品	1,830	1,664	賞与引当金	815	734
その他	1,000	837	その他	3,276	3,857
貸倒引当金	△7	△7			
固定資産	41,556	38,822	固定負債	6,649	6,782
有形固定資産	36,776	33,962	長期借入金	150	210
建物及び構築物	12,080	10,806	リース債務	46	74
機械装置及び運搬具	6,989	6,563	繰延税金負債	995	1,016
土地	15,068	13,858	再評価に係る繰延税金負債	744	723
リース資産	60	72	退職給付に係る負債	4,088	4,170
建設仮勘定	1,251	905	資産除去債務	523	500
その他	1,325	1,754	その他	100	85
無形固定資産	1,073	1,217			
のれん	862	1,002	純資産の部	47,460	43,973
その他	211	214	株主資本	43,765	40,569
			資本金	6,673	6,673
投資その他の資産	3,705	3,643	資本剰余金	1,273	2,213
投資有価証券	2,923	2,773	利益剰余金	35,846	32,684
繰延税金資産	319	368	自己株式	△28	△1,002
その他	462	501			
資産合計	66,608	62,512	その他の包括利益累計額	3,694	3,403
			その他有価証券評価差額金	1,329	1,204
			繰延ヘッジ損益	△5	△4
			土地再評価差額金	1,505	1,527
			為替換算調整勘定	936	742
			退職給付に係る調整累計額	△71	△67
			非支配株主持分	0	0
			負債純資産合計	66,608	62,512

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2024年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2024年3月31日
売上高	42,912	36,108
売上原価	28,028	25,495
売上総利益	14,884	10,613
販売費及び一般管理費	8,407	7,794
営業利益	6,476	2,818
営業外収益	449	682
受取利息	5	1
受取配当金	83	76
固定資産賃貸料	298	306
補助金収入	—	200
その他	61	96
営業外費用	250	224
支払利息	20	24
固定資産賃貸費用	99	84
遊休資産諸費用	28	28
コミットメントフィー	32	32
為替差損	37	24
その他	32	29
経常利益	6,675	3,276
特別利益	214	142
固定資産売却益	5	14
投資有価証券売却益	208	128
特別損失	251	168
固定資産処分損	109	79
減損損失	141	88
その他	—	0
税金等調整前当期純利益	6,638	3,251
法人税、住民税及び事業税	2,208	1,094
法人税等調整額	△47	39
当期純利益	4,477	2,117
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,477	2,117

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2024年4月1日～ 2025年3月31日	2023年4月1日～ 2024年3月31日
営業活動によるキャッシュ・ フロー	8,656	4,987
投資活動によるキャッシュ・ フロー	△6,543	△3,094
財務活動によるキャッシュ・ フロー	△2,360	△1,786
現金及び現金同等物に 係る換算差額	50	48
現金及び現金同等物の 増減額 (減少:△)	△197	155
現金及び現金同等物の 期首残高	8,245	8,090
現金及び現金同等物の 期末残高	8,048	8,245

AIの発展とともに成長し続ける 半導体産業を研磨材で支える

音声認識やデータ分析をはじめ、あらゆるサービス、モノに活用されるAI(人工知能)の発展は目覚ましく、AI向け半導体の需要が現在の半導体市場を牽引しています。このような状況の中、国内外の大手半導体メーカーでは、今後の半



導体の需要拡大を見越して、新工場の建設や生産能力の増強を進めています。

フジボウ愛媛(株)は、最先端のAI向け半導体の超精密研磨加工

プロセスで使用される研磨材で高いシェアを誇っていますが、今後の半導体需要の増加に対応するため、研究開発体制の充実化を図るとともに、生産設備を増強しています。直近では、積極的に自動化、省力化装置を導入し、品質や生産性の向上に努めています。

今後も、積極的な設備投資を通じて高品質な製品の安定供給を続けることにより、半導体産業を支え、社会の発展に貢献してまいります。



柳井第5プラント 新設プロジェクトが順調に進捗

柳井化学工業(株)では機能性材料の中長期にわたる需要拡大に応えるべく、柳井本社工場に第5プラントを新設するプロジェクトを進めています。設備投資の規模は、プラント本體工事と付帯工事を合わせて総額62億円



です。

現在、変電設備、倉庫、各種タンク類増設等の付帯工事が概ね完了し、昨年12月に着工したプラント本體

工事は基礎工事が終わって上棟工事に移行しています。武生工場での設備投資を含めてプロジェクトは順調に進捗しており、当初の計画通りに2025年度内の竣工、2026年度初めからの本格稼働を予定しています。

世界経済の先行きに不透明感が高まる中、新プラントで対象とする機能性材料の需要は堅調であり、更なる業容拡大の実現をめざしてまいります。



アングルPOP-UP STORE ～130年の歴史 アングルのメリヤス展～

アングル高級肌着の定評ある着心地の良さを、より幅広い世代に実感していただくため、3月に東京・代官山の蔦屋書店で2回目となる期間限定のPOP-UP STOREを開催しました。

アサメリーの肌着は、原綿からこだわった毛羽の少ない強撚双糸を用いた立体的



な編み方が生む、麻のようなシャリ感が特徴であり、近年海外のお客様からも高い評価をいただいています。

今回、アサメリーと同じ糸をぜいたくに用い、厚手の生地ながら、アサメリーのシャリ感を持つスウェットなどのアウターウェアも展示し、高価格にもかかわらずお客様から確かな手ごたえが得られました。

創業130年を迎えたアングルは、日本が誇る“古き良き”品質を継承しつつ進化を遂げ、これからも「いつもの、最高の着心地」をお客様にお届けします。



Topics

3

生活衣料事業

未来の確かな成長に向けて ～女性活躍推進の取り組み～

当社グループは、個々の能力を最大限発揮できる労働環境づくりを進めています。とりわけ、女性の活躍が企業価値の向上に資すると考え、女性のキャリア支援を目的とした以下のような取り組みを実施しています。

- ☑ 育児・介護休職制度の整備、充実
- ☑ ウェルカムバック制度の導入
- ☑ グループ全従業員に対する女性の健康課題研修の実施

当社グループのサステナビリティに関する取り組みについては、当社ホームページで、さらに詳しく紹介

しています。

以下のURLまたは二次元コードよりご覧ください。
<https://www.fujibo.co.jp/sustainability/>



女性活躍推進に関する目標

項目	設定時	現状	目標
女性管理職比率	8.6%	9.8%	10%以上
女性総合職比率	5.9%	16.2%	8%以上

*設定時：2021年3月末

*現状：2025年3月末

*目標：2026年3月末（女性総合職比率は達成済み）

Topics

4

サステナビリティ

会社概要 (2025年3月31日現在)

商号	富士紡ホールディングス株式会社
本社所在地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大阪支社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設立	1896年3月24日
資本金	66億7383万2000円
従業員数	単体109名 連結1,319名
主要な事業内容	1. 研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 2. 各種化学工業品の製造、加工、販売 3. 各種繊維製品の製造、加工、販売

連結対象会社 (2025年3月31日現在)

■ 研磨材事業

フジボウ愛媛(株)
台湾富士紡精密材料股份有限公司
フジケミ(株)

■ 化学工業品事業

柳井化学工業(株)

■ その他の事業

フジケミ(株)
(株)東京金型
(株)IPM

■ 生活衣料事業

(株)フジボウアパレル
ジンタナフジボウコーポレーション
フジボウテキスタイル(株)
タイフジボウテキスタイル(株)
富士紡(上海)商貿有限公司

役員 (2025年6月27日現在)

代表取締役社長	井上雅偉
社長執行役員	平野治
代表取締役専務執行役員	佐々木辰也
代表取締役常務執行役員	望月吉見
取締役常務執行役員	戸坂浩二
取締役	ルース・マリー・ジャーマン
取締役	小林久志
取締役	佐藤梨江子
取締役	壺田貴弘
常勤監査役	野口篤謙
常勤監査役	岡本勝彦
監査役	大塚幸太郎
監査役	藤居勝也

(注) 1. 取締役のルース・マリー・ジャーマン、小林久志、佐藤梨江子、壺田貴弘の4氏は社外取締役であります。
2. 監査役の岡本勝彦、大塚幸太郎、藤居勝也の3氏は社外監査役であります。

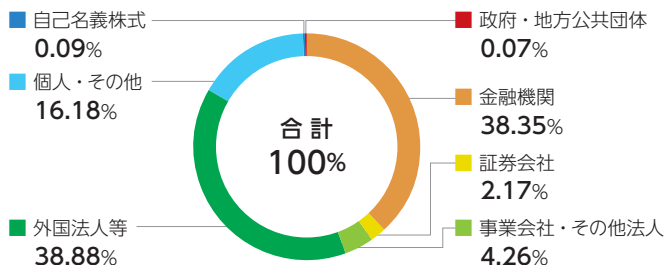
執行役員 (2025年6月27日現在)

常務執行役員	鈴木眞
常務執行役員	清水康弘
上席執行役員	岡田祐明
上席執行役員	中村隆夫
執行役員	広田幸史
執行役員	鈴木基文
執行役員	武田秀則
執行役員	岩國信利
執行役員	大宅隆史

株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,354,000株
株主数	5,569名

所有者別分布状況

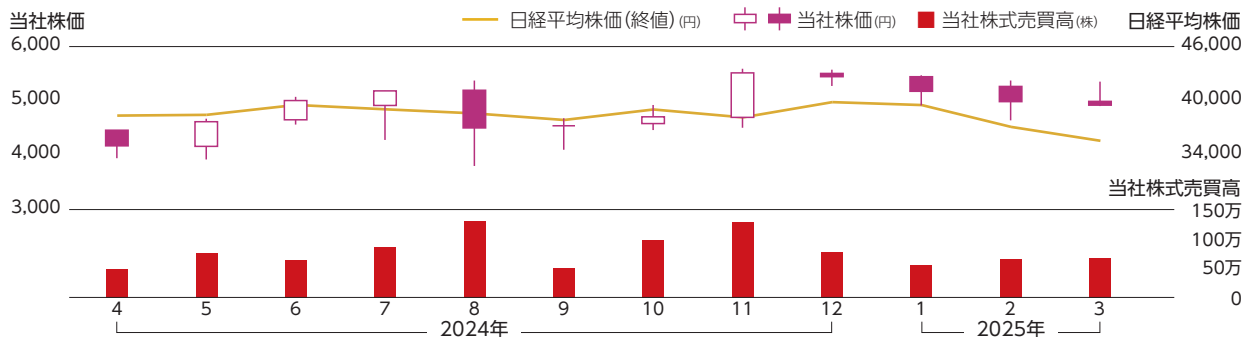


大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,330,300	11.73
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	926,400	8.17
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	708,938	6.25
明治安田生命保険相互会社	533,500	4.70
株式会社三菱UFJ銀行	500,000	4.41
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	482,599	4.25
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	446,000	3.93
三菱UFJ信託銀行株式会社	322,500	2.84
フジボウ共栄会	291,200	2.57
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS - PACIFIC POOL	241,900	2.13

(注) 持株比率は、自己株式(10,733株)を控除して計算しております。

当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.fujibo.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12
電話 03-3665-7777(代)



<https://www.fujibo.co.jp/>

